

2024 クラブマンモトクロス第8戦

順位 (1位/2位) 車番 名前 クラブ名 車名 POINT

<2ヒート制>

■GPクラス総合(入賞〜総合4位 / フルポイント)

1	1/1	13	広野 拓也 (09/22)	MHP RACE TEAM	YZ450F	25/25
2	2/3	7	田淵 武 (09/22)	C for Racing	Y-YZ450F	22/20
3	4/2	1	大内 健八	城北ライダース	Y-YZ450F	18/22
4	3/4	24	西 信明	大磯ムスタング	Y-YZ450F	20/18

■SEクラス総合(入賞〜総合6位 / フルポイント)

1	1/1	98	米山 駆	隼 ROOST	Y-YZ250F	25/25
2	2/2	1	若松 大地	WINレーシング	Y-YZ250	22/22
3	4/3	227	中根 健	城北ライダース	K-KX450	18/20
4	3/4	111	向井 努	MR-K美蔵 with K-cross	H-CRF450R	20/18
5	5/5	87	Paulo S Araujo	MX BRAVES	K-KX450	16/16
6	6/7	74	Santos Marcio	MX BRAVES	K-KX450	15/14
7	/6	51	久保 亨	城北ライダース	K-KX250	0/15

■GP150クラス総合(入賞〜総合2位 / フルポイント)

1	2/1	1	大内 健八	城北ライダース	K-KX100	22/25
2	1/2	24	西 信明	大磯ムスタング	Y-YZ85	25/22

■SE150クラス総合(入賞〜総合6位 / フルポイント)

1	1/1	471	吉本 羽汰	DAMIAN Club	K-KX85	25/25
2	3/2	47	高橋 実	小田原ルト1	Y-YZ85	20/22
3	2/3	21	森田 誠	BAD BULL	K-KX112	22/20
4	5/4	2	飯田 益己	隼 ROOST	H-CRF150R	16/18
5	4/5	1	藤田 康高	東京オートクレイジー	Y-YZ85	18/16
6	7/6	27	山本 久基	オヤジライダーズ	K-KX112	14/15
7	6/8	32	山崎 光明	I.R.T.	Y-YZ85	15/13
8	8/7	62	片岡 夏来	C Four racing	K-KX100	13/14
9	9/9	22	安孫子 賢二 (09/22)	SE友の会	H-CRF150R	12/12
10	13/10	5	牧野 篤	レーシングチーム鷹	Y-YZ85	8/11
11	12/12	810	波戸 玲	工学院モーターサイクル部	K-KX112	9/9
12	10/16	7	中野 亮	隼 ROOST	H-CRF150R	11/5
13	15/13	37	小泉 俊一郎	TEAM MX JAPAN	H-CRF150R	6/8
14	11/18	11	小川 史朗	H・R・C	H-CRF150R	10/3
15	16/15	34	斉藤 匠彦	隼 ROOST	H-CRF150R	5/6
16	14/17	3	工藤 厚	ASSY'S	H-CRF150R	7/4
17	/11	155	池田 均	オヤジライダーズ	H-CRF150R	0/10
18	/14	40	山科 均	SAM RACING	H-CRF150R	0/7
19	/19	100	山崎 進喜	青梅ファトムC	H-CRF150R	0/2

※ GP/SE/GP150/SE150 は 2 ヒート制: 両ヒートとも 25 点法でフルポイント計上

< RACE REPORT >

台風10号による大雨の影響で中止となった第7戦「第108回全日本モトクロス競技大会」から数日が経ち、いよいよ第8戦だ!と意気込んでいたら…またしても台風の影響が…。

前日までの天気予報から一変! 台風14号と秋雨前線の影響により、朝から雨のスタートとなったMXV大会でした。「家を出発時点では晴れ間も見えたため、マディタイヤを置いてきてしまった」と悔しがるライダーも。コース是一部スタックポイントができるほど荒れ模様…しかし昼休みに福本店長が念入りにコース補修していただき、午後からは走りやすくなったようです。そして川越のコースの名物ともなってきたドローン撮影も天気回復と共に再会して、スタートラインから手を振って楽しんでいる様子が見られました。

さてレースの方はGPクラス#13 広野 拓也選手 (MHP RACE TEAM) が総合優勝。続いてヤマハワークス時代からマディに強かった#7田淵 武選手 (C for Racing) が総合2位となった。

SEクラスでは若手が大活躍し、#98 米山 駆選手 (隼 ROOST) が両ヒートを制して総合優勝。#1 若松 大地選手 (WINレーシング) が総合2位と頑張った。

GP150では#1 大内 健八選手 (城北ライダース) と#24 西 信明選手 (大磯ムスタング) がヒート毎に1位を奪い合い、第2ヒートを制した大内選手が総合優勝となった。

SE150では#471 吉本 羽汰選手 (DAMIAN Club) が両ヒートを制して総合優勝した。2位争いは#47 高橋 実選手 (小田原ルト1)

順位 車番 名前 クラブ名 車名 POINT

<1ヒート制: 午前のレース>

■E-F1クラス(入賞フルポイント〜3位 / 以下ハーフポイント)

1	615	柴田 敬明 (09/22)	B.Cool	GA-MC250F	25
2	01	町田 翼	町田一家	K-KX450	22
3	317	佐藤 清吾	DAMIAN Club	Y-YZ125	20
4	125	畔蒜 秀享	Me&Her Racing	Y-YZ125	9
5	27	佐藤 智和	湘南 MCC	Y-YZ250F	8
6	145	笹川 活禎	フライバートレーシング & ハニービー	H-CRF450R	7.5
7	60	山本 雄三	MHP RACE TEAM	Y-YZ250F	7
8	521	岡田 豊蔵	MR-K 美蔵 with K-cross	H-CRF250R	6.5
9	218	川島 應佑	小田原ルト1	Y-YZ125	6

■N-F1クラス(入賞フルポイント〜3位 / 以下ハーフポイント)

1	1	若松 勇一	WINレーシング-II	S-RM250	25
2	215	有賀 正樹	笛吹レーシングファミリー	Y-YZ125	22
3	401	池崎 洋一 (09/22)	TEAM 芝泥	H-CRF250R	20
4	373	Vegeta Tanaka (09/22)	ALZATE RACING TEAM	Y-YZ250F	18
5	18	掛江 裕二	城北ライダース	Y-YZ250F	16
6	46	松本 剛	スエロレーシング with 勝田産業	Y-YZ250F	7.5
7	174	新井 克弘	DAMIAN Club	H-CRF250R	7
8	231	Pereira Marcelo	MX BRAVES	H-CRF250R	6.5
9	94	浅川 肇	山梨オートハッパローズ	H-CRF250R	6

■E-M1(150)クラス(入賞フルポイント〜2位 / 以下ハーフポイント)

1	33	狩野 祐太	I.R.T.	Y-YZ85	25
2	81	関 賢一郎	東京オートクレイジー	H-CRF150R	22
3	110	伊藤 晶	レーシングチーム鷹	H-CRF150R	10
4	160	佐藤 真	MOTOR HOUSE R・D	H-CRF150R	9
5	28	鍋谷 維章	東京オートクレイジー	K-KX112	8

■N-M1(150)クラス(入賞フルポイント〜2位 / 以下ハーフポイント)

1	03	山田 一洋	城北ライダース	K-KX85	25
2	121	町田 夢叶	町田一家	K-KX85	22
3	58	昆 志呂芳	モトバドック タムラ	S-RM85	10
4	29	土谷 育生	隼 ROOST	H-CRF150R	9
5	61	小宮 洋一 (09/22)	Motocross 1day Lisence	S-RM85	8



と#21 森田 誠選手 (BAD BULL) がバトルした結果、ヒート2を制した高橋選手に軍配は上がった。

Eフルサイズでは山形県から参戦している#615 柴田 敬明選手 (B.Cool) が優勝。続いては、親子でレースを楽しんでいる町田一家の#01 町田翼選手が2位に入る健闘を見せた。

午後のE-F2では#317 佐藤 清吾選手 (DAMIAN Club) が優勝に輝き、地元クラブの強さを見せつけた結果となった。

N-F1クラスでは#1 若松 勇一選手 (WINレーシング-II) が優勝。こちらも親子でレースを楽しんでおり、息子はSEクラスで活躍中。

午後のN-F2では山梨県から参戦の#215 有賀 正樹選手 (笛吹レーシングファミリー) が優勝した。

E-M1では#33 狩野 祐太選手 (I.R.T.) が午後のE-M2とともにW優勝となった。また#81 関 賢一郎選手 (東京オートクレイジー) は両クラスとも2位と大健闘した。

N-M1&N-M2は#03 山田 一洋選手 (城北ライダース) がクラスを間違えたんじゃないか?と思えるほどの速さで優勝。そして両クラス2位には町田一家の#121 町田夢叶選手が健闘した。

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
----	----	----	------	----	-------

<1ヒート制：午後のレース>

■ E-F2 クラス (入賞7ポイント～3位 / 以下ハーフポイント)

1	317	佐藤 清吾	DAMIAN Club	Y-YZ125	25
2	218	川島 應佑	小田原ルト1	Y-YZ125	22
3	01	町田 翼	町田一家	K-KX450	20
4	125	畔蒜 秀享	Me&Her Racing	Y-YZ125	9
5	27	佐藤 智和	湘南 MCC	Y-YZ250F	8
6	145	笹川 活禎	プライベートレーシング&ハニービー	H-CRF450R	7.5
7	37	小泉 俊一郎	TEAM MX JAPAN	K-KX250	7
8	60	山本 雄三	MHP RACE TEAM	Y-YZ250F	6.5
9	521	岡田 豊蔵	MR-K 美蔵 with K-cross	H-CRF250R	6

■ N-F2 クラス (入賞7ポイント～4位 / 以下ハーフポイント)

1	215	有賀 正樹	笛吹レーシングファミリー	Y-YZ125	25
2	1	若松 勇一	WIN レーシング - II	S-RM250	22
3	18	掛江 裕二	城北ライダーズ	Y-YZ250F	20
4	810	久保 修治	城北ライダーズ	H-CRF250R	18
5	69	込山 正春	小田原ルト1	K-KX250	8
6	373	Vegeta Tanaka (09/22)	ALZATE RACING TEAM	Y-YZ250F	7.5
7	46	松本 剛	スエロ レーシング with 勝田産業	Y-YZ250F	7
8	231	Pereira Marcelo	MX BRAVES	H-CRF250R	6.5
9	94	浅川 肇	山梨オートパフォーラース	H-CRF250R	6
10	551	渡辺 幸治	小田原ルト1	S-RM250	5.5
11	174	新井 克弘	DAMIAN Club	H-CRF250R	5

■ E-M2(150) クラス (入賞7ポイント～2位 / 以下ハーフポイント)

1	33	狩野 祐太	I.R.T.	Y-YZ85	25
2	81	関 賢一郎	東京オートレジン	H-CRF150R	22
3	160	佐藤 真	MOTOR HOUSE R・D	H-CRF150R	10
4	28	鍋谷 維章	東京オートレジン	K-KX112	9
5	110	伊藤 晶	レーシングチーム鷹	H-CRF150R	8

■ N-M2(150) クラス (入賞7ポイント～1位 / 以下ハーフポイント)

1	03	山田 一洋	城北ライダーズ	K-KX85	25
2	121	町田 夢叶	町田一家	K-KX85	11



ゼッケンが読めないほどのマディは久しぶり



気合い十分な N-F1 スタート

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
----	----	----	------	----	-------

<セミレギュラークラス> (※ランキング対象外)

■ プレノビスクラス (MX 初心者および N 入賞未経験者 / 賞典外)

1	N-700	鈴木 和宏 (09/22)	嶋野レーシング	H-CRF450	
---	-------	---------------	---------	----------	--

■ セニアクラス (50 歳以上 / 入賞 1 位)

1	71	藤本 昌明	チーム でんでん虫	H-CR250 無限	
2	81	斉藤 城太郎	野田ジュニアレーシングクラブ	Y-YZ85	
3	23	二見 嘉彦	小田原ルト1	H-CRF250R	

<25ポイント制>

1位=25p / 2位=22p / 3位=20p / 4位=18p / 5位=16p / 6位=15p / 7位=14p / 8位=13p / 9位=12p / 10位=11p / 11位=10p / 12位=9p / 13位=8p / 14位=7p / 15位=6p / 16位=5p / 17位=4p / 18位=3p / 19位=2p / 20位=1p
 ※EJ450・250・150、N450・250・150 クラスは25ポイント制
 入賞者=フルポイント計上 / 入賞以外20位まで=ハーフポイント計上
 ※GP・SE・SE150 は入賞者とそれ以外の方も25点法で7ポイント計上
 ※優勝者の75%以上の周回数を完了したライダーが完走者とする
 計算方法はトップの周回数に0.75を掛けて小数点以下を切り捨てた数

<協賛スポンサー各社様>

(株)アライヘルメット / (株)ブリヂストン / (株)ダンロップタイヤ / (有)テクニクス / (株)イングラム / (株)ビート (NORTON) / (株) Westwood MX / (有)アルファスリー / (有)うず潮レーシング / ウエストポイント / (株)アルエス タイチ / (有) NUTEC Japan / (株)MHプロダクツ / (株)協和興材 (Mic r olon) / (株)造形社 / (株)テクニカルスチール / 東京スリーホークス / (有)日高システム / (株)フォトクリエイト / (有)フォーシーズンズ / プライベートレーシング&ハニービー / 北湘モーターサイクル / ZONE ENERGY / (株)八重洲出版 / (株)ワークスワン / OFFICE CAMELIN / PHOTOHUNTER / Me&Her Racing / 他、 (順不同)



スタート直後は車両もまだキレイだったが、、



GP&SE ではマディマスターが大活躍